

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年5月29日

事業所名 リンクエイトⅢ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			・活動場所、学習室、個別対応室を分けて療育をしている。	・利用児童の特性を踏まえ、今後も利用しやすいような環境設定をし対応していく。
	2	職員の配置数は適切である	6	1		・各部屋に支援員を配置し、児童の見守りを行っている。	・職員配置が厳しい時もあるので、パート職員を1名ほど追加する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	4	・現状では特に問題なし。	・利用児童に応じて、検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	4	1	・話し合いをもち、次の活動に活かしている。	・今後も話し合いの場をもち、職員の意見を反映していけるように努める。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	4	1	・今年度初実施。保護者からの意見をありがたく受け止め、全職員で共有し今後の運営に反映する。	・ご家族からの意見を活かし、業務改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	4	2	・今年度、初実施。	・集計後、ホームページに掲載する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	2	・第三者委員は、開所前から配置している。	・保護者への伝達が不十分だった為、文書にてお知らせする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・今年度から職員のスキルアップ研修や各委員会を発足し、毎月研修を行っている。	・研修で得たスキルを発揮できるようにしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	3	1	・利用児童に合ったサービスが提供できるよう、会議を行い作成している。	・定期的にあセスメントを行っていないので、定期的に行えるようにしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	1	・利用児童にあった支援や療育が提供できるよう、会議を随時行っている。	・本人、ご家族の意見やニーズを確認し、ニーズに沿った支援や療育を検討し、計画を作成する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・利用児童が楽しみながら参加できる活動を取り入れている。	・充実した活動内容にできるよう、今後も職員で話し合いをしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			・継続して行う必要がある活動は継続し、その他は新しい活動を組み入れている。	・活動中の児童の様子を観察し、その後、職員で話し合いをもち活動内容に関して検討している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	3		・サービス提供時間に合わせて、その時にしかできない活動を組み入れている。	・活動に偏りが無いよう工夫する。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		・利用児童に合わせて活動内容を考え、作成している。	・本人、ご家族の意見やニーズを確認し、ニーズに沿った支援や療育を検討し、計画を作成する。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		・毎日の朝礼時に行っている。	・継続して行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2		・翌日に行っている。	・継続して行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・利用児童の様子等を話し合いながら振り返り、記録を取っている。	・継続して行う。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			・定期的に行っている。	・今後も継続して行い、利用児童の変化や保護者のニーズを取り入れられるよう努めていく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	4		・ガイドラインの読み合わせ。	・職員の理解を深められるように研修会などを実施し、更なる充実を図りたい。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1		・基本的に参加している。	・継続して行う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2		・新規児童の送迎時、名刺を渡している。 ・学校HPやスクリーン、公文の確認を行っている。 ・学校送迎時や電話連絡でやり取りを行っている。	・継続して行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3			・担当看護師が、直接主治医に指示書作成を依頼し連絡体制を整えていた。	・継続して行う。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2		1	・保護者や相談員を通して、状況の把握を行っている。	・必要であれば、直接話しを伺い児童の把握していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			4	・該当者なし。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	4		・発達障害者支援センター等が主催する研修会等に参加できるよう努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3	1		・施設を借用することはあるが、障がいのない子どもたちとの交流は行っていないので、計画・実施できるよう検討する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	4		・事業所としてどう参加していくか、前向きに検討する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・送迎時にお伝えしたり、S公式ライン等を活用してお伝えしている。	・継続して行う。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	1	・心理士、公式ラインの活用	・保護者に対してのアプローチ等の実施については、保護者のニーズに合わせて実施していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			・契約時に必ず読み合わせを行っている。	・継続して行う。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		・迅速に対応している。その後、他職員にも共有している。	・継続して行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	5	・保護者ユンタク会を設けている。	・継続して行う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	4		・公式ライン等を活用し、気軽に相談できるようにしている。又、苦情があった場合は、管理者を中心に迅速に対処し、別途時間を設けて話を聞くなどの対応をしている。	・継続して行う。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			・公式ラインやSNS等を活用し発信している。	・毎月のお便りの発行ができていなかったため、発行できるようにしていく。
	35	個人情報に十分注意している	7			・十分に気をつけている。	・就業規則の守秘義務の規定を確認し、個人情報保護の厳守に今後も努めていく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	2		・利用児童に応じて、配慮をしている。	・継続して行う。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			2	6	・実施できていない。 ・公民館などを利用し、当事業所を知ってもらうことから始めたい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1		4	1	・各委員会発足時に読み合わせを行っている。 ・保護者への周知がまだ出来ていないので、周知に努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			1	・毎月、避難訓練を行っている。 ・継続して行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			6	1	・委員会を発足したので、研修の機会を確保する。 ・継続して行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		3	1	・契約時にお伝えしている。 ・継続して行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		3	1	・見学时や契約時に確認している。必要であれば、診断書の提出をお願いしている。 ・継続して行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2		1	4	・事例が起きたら職員間で共有している。 ・職員間での共有のみだったので、きちんと文書として作成する。